

ぼやあ樹 利用例

ぼやあ樹では、毎月、地域の病院や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、介護老人保健施設など、さまざまな機関の皆様よりご相談をお受けしております。今回はその相談ケースの中で、実際にぼやあ樹をご利用となったケースから、泊まりサービスが中心の方のケースを利用例をご紹介します。



年齢	84 歳	性別	男性	要介護度	要介護3
住環境	息子と2人暮らし	ADL	移動は車椅子使用、その他はほぼ自立、中度の認知症あり		

【利用例】

	月	火	水	木	金	土	日
サービス	泊まり	泊まり	泊まり	泊まり	デイサービス 9～18(夕食有り)	休み (利用なし)	休み (利用なし)
ポイント	・平日は同居のご家族が就労のため、週4泊まりサービスを利用され、金曜日に夕食を召し上がってから帰宅 自宅内を1人で過ごすのは不安があるため、家族の帰宅時間に合わせて<u>夕食有りの長時間デイサービス</u>を利用。 <u>送迎時は、自宅内までぼやあ樹のスタッフが移動介助を行なう。</u> ・息子が休みである土日には利用は無く、家族と過ごされる。 但し、息子の仕事状況に合わせて臨機応変なサービス(泊まりや配食など)変更有り。						



年齢	80 歳	性別	女性	要介護度	要介護5
住環境	娘と二人暮らし	ADL	車椅子使用、移動動作はほぼ全介助、食事はセッティングのみで OK、座位保持3～4時間が限界		

【利用例】

	月	火	水	木	金	土	日
サービス	泊まり	泊まり	泊まり (日中3時間の み帰宅)	泊まり	泊まり	泊まり (日中3時間の み帰宅)	泊まり
ポイント	・週2回 日中3時間だけ(おおよそ 11 時～14 時または 13 時～16 時など)帰宅される。 短い時間ながらも、ご家族に介助の不安や負担なく、一緒に時間を過ごせるように時間を調整する。 ※夜間にはご家族が介助に不安があるため、日中に帰宅される。						

